

ニューズレター No.34

日本リメディアル教育学会(JADE)

<http://www.jade-web.org/> 発行人 穂屋下 茂

2010(平成 22)年 11 月 8 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.34 をお届けいたします。今回は、

- (1)日本学術会議協力学術研究団体申請
- (2)九州・沖縄支部会 支部大会

についてお知らせいたします。

日本学術会議協力学術研究団体申請

過日、「日本学術会議協力学術研究団体」の称号の付与を受けるための申請について、全会員メーリングリストを介して、会員の皆様にメールを差し上げました。

特に、申請手続きの際に必要な、会員名簿(男女別、所属する大学等機関名及び職名を含む)を日本学術会議に提出する件について、会員の皆様の個人情報にかかわる案件ですので、メールの中で、会員の皆様に、ご了承いただけますようお願いし、ご意見などありましたら、お聞かせいただくようお願いいたしました。(10月31日まで)

その結果ですが、ご了承いただけない旨のご意見はありませんでした。

この結果を受け、日本学術会議への申請手続きを進めさせていただきたいと考えております。

なお、皆様から、このことに賛同するという旨のご意見をいただきました。一方で、「メールの文面では、会員が何をすればよいのかははっきりしない」、「連絡のない場合は了承したものとみなすのかどうか伝えた方がよい」というメールの文面の不十分な点に関するご指摘をいただきました。今後の学会による情報提供の方法を改善するための貴重なご意見として参考にさせていただきます。

また、大会会員と賛助会員の取扱いに関するお問い合わせをいただきました皆さまには、日本学術会議へ提出する名簿は正会員(個人会員)が対象となるということをお伝えいたしました。

ご意見、ご指摘に感謝を申し上げますとともに、今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

九州・沖縄支部会 支部大会

日本リメディアル教育学会 九州・沖縄支部会では、2010年11月21日に支部大会を沖縄国際大学において開催いたします。この支部大会では、特別講演、講演および一般研究発表が行われます。

日 時: 2010年11月21日 9時30分から17時まで

会 場: 沖縄国際大学 <http://www.okiu.ac.jp/>

参加費: 無料

大会ホームページ:

<http://www.jade-web.org/jade/branch/kyuusyuokinawa.html>

プログラム(予定)

9:00- 登録・受付

9:30-9:40 開会の辞 寺田 貢(福岡大学)

9:40-10:10 特別講演: 今、大学に求められること 早川 信夫(解説委員、NHK)

10:10-10:50 講演: 授業で利用可能な日本語教材の教材内容と配布方式-高等教育の基礎である日本語力育成を目的に、授業の一部での利用を目指した学会提供教材-小野 博(昭和大学)、馬場真知子(東京農工大学)、たなかよしこ(日本工業大学)

10:50-11:30 講演: e-Learning を利用したリメディアル教材と教育法 穂屋下 茂(佐賀大学)

11:30-11:40 展示企業の紹介

11:40-12:00 日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会 総会

12:00-13:30 昼食

13:30-15:00 一般研究発表 IA: 英語教育

1. 牧野眞貴: 小学校英語活動指導法がリメディアル英語授業に示唆すること-スポーツ推薦入学生をモデルにして-
2. 内田富男: An Attempt to List Basic Collocations for Vocabulary Teaching to False-Beginners — Extracting Of-Phrases from an English-Japanese Dictionary Corpus —
3. 上村隆一: 「三位一体」型教材を活用した英語リメディアル教育の可能性

13:30-15:00 一般研究発表 IB: 初年次教育

1. 廣嶋道子、大津 敦史: 附属推薦入学予定者を対象にした入学前教育の実施— 福岡大学の事例 —
2. 大城明子: 大学初年次共通英語クラスにおける豆テストの実践報告
3. 小園和剛、進藤三雄、上拂耕生、望月信幸、飯村伊智郎、三浦 章: 入学前教育におけるメールマガジン利用の取り組み

15:00-15:20 休憩

15:20-16:50 一般研究発表 IIA: ICT 活用教育、日本語教育

1. 穂屋下 茂、久家淳子、米満 潔、古賀崇朗、原口聡史、永溪晃二、藤井俊子、梅崎卓也: 単位の実質化に向けた e ラーニング教材を活用した学習環境の構築
2. 江原由裕: e ラーニング科目を開講して
3. 瀬村江里子: 日本語の「読み」「書き」能力向上のためのきっかけ作り

15:20-16:50 一般研究発表 IIB: リメディアル教育全般、理数系教育

1. 谷川裕稔: 学習支援概念枠組みに関する一考察(3) (「ディベロップメンタル教育」概念の導入を中心に)
2. 柴田喜幸: e ラーニングを用いた学部新入生の基礎科目におけるリメディアル教育
3. 高橋大介: 学生主体の数理学習センターの取り組みと、連携授業の果たす役割

16:50-17:00 閉会の辞 ダグラス・ドライスタット(日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会 副支部長、沖縄国際大学)

情報交換会:

大会前日の 11 月 20 日の夕刻に情報交換会を開催いたしますので、奮ってご参加ください(会費¥4,000-程度)。

日時: 11 月 20 日 19 時より

場所: 那覇市小緑 ばいかじ

沖縄県那覇市金城 3-4-10(2F)、Tel: 098-858-5470

URL: http://www.paikaji.jp/tenpo/okinawa_oroku.html

問合せ先

日本リメディアル教育学会 九州・沖縄支部会

支部長: 福岡大学理学部物理科学科 寺田 貢

e-mail: mterada@fukuoka-u.ac.jp

Tel: 092-871-6631 内線 6169、Fax: 092-865-6030

副支部長: 沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科

ダグラス・ドライスタット(現地世話人)

e-mail: dreistad@okiu.ac.jp

Tel: 098-893-6791、Fax: 098-893-6791

副支部長: 筑紫女学園大学文学部英語メディア学科

田口 純

e-mail: ataguchi@chikushi-u.ac.jp

Tel: 092-925-9247、Fax: 092-925-9247

会誌への論文投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。詳しくは <http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html> をご覧ください。

【文責】寺田 貢